

※皆様からいただきましたご意見・ご要望につきましては、原文のまま掲載させていただいています。

## インフラ・公共交通・生活環境について

### ゴミ袋の購入

町外から来たからこそですが、ゴミ袋をどこで購入していいかわかりませんでした。その辺りの案内が欲しいなと思いました。

回答

ゴミ袋の購入できる場所などを記載したチラシを作成し、転入の際に窓口にてお渡しいたします。

#### ゴミ袋を購入できる町内店舗（一部）

- ・スーパー本松屋（東飯田）
- ・タマヤ薬局（野上）
- ・高原ショップ小野（飯田）
- ・スーパーかねよし（南山田）
- ★上記以外にも、ゴミ袋が販売されている店舗があります。  
（一部取り扱いのないサイズがある場合がありますがご了承ください）

（令和3年10月時点）



### ガードレールの設置

道路の危ない所にガードレールの設置をして欲しい。

回答

ガードレールの設置については、行政区からの申請に基づき、現地を確認し設置の判断をさせていただきます。

事業実施については、予算を伴いますので、優先順位を付け、年次計画を立てて設置等を行っていきます。

- 町道に関するご相談は、行政区内で設置についてご相談いただき、建設課（☎76-3811）までご連絡ください。

紙面の都合上、一部のご意見・ご質問への回答を掲載させていただいております。すべての回答は九重町ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



◀九重町HP（総合計画ページ）



### ゴミの分別

ゴミの分別をもう少し厳しくしてもいいと思います。ペットボトル・かん・ビンは分けて入れる等。ごちゃごちゃに入っているのをよく見かけるので。

回答

令和3年度から、ゴミの分別方法について、ペットボトルと缶の分別を皆様をお願いしているところです。

分別方法については、人権・健康・環境カレンダーや九重町ホームページからもご確認くださいいただけますので、今後、その周知を図っていきます。

#### ゴミの分別方法について

- ★ごみの分別は、ごみの質の多様化に伴い処理方法が毎年変わります。
- ★最新の分別方法をご確認いただき、ごみの減量化及びリサイクルにご協力をお願いします！



◀九重町ホームページ（人権・健康・環境カレンダー）

LINEのリッチメニューから簡単にアクセス可能



## 教育について

### 複式学級

子どもが減少し、複式学級が主になると学力的に不安がある。

回答

複式学級については、日課表を工夫することで、複式の授業を解消するように努めています。

今後、集合学習やタブレット端末等を活用した授業を実施し、子ども達の交流機会を確保するよう努めていきます。

## 医療・介護・高齢者について

### 集える場所づくり

住みなれた場所で住み続けることができるように町民で助け合える町づくりができたら嬉しい。困ったときに頼れる場所があったら嬉しい。集まりやすい場所がほしい。

回答

地域における協働の拠点として、ふれあい交流センターを整備し、各地区まちづくり協議会のもと、それぞれの地域課題の解決のための取組が実施されています。

東飯田地区・南山田地区では、社会福祉協議会のご協力により、「くらしのサポートセンター」が設置されているとともに、多世代が交流する「寄り合いカフェ」や「地域ふれあい食堂」などの取組も行っています。

- 地域ふれあい食堂の開催日は、無線放送・データ放送でお知らせいたします

## 農業・観光について

### 農地の管理

農地を管理するにも機械を買わなければと考える。行政が全面的にバックアップ（機械の貸し出しなど）色々これからについて考えてもらいたい。

回答

農地の維持管理に関しては中山間地域等直接支払制度等の補助事業の活用を推進しています。また令和2年度に立ち上げました「九重町地域農業サポート協議会」では補助事業における事務代行を行っています。機械の貸し出しは行っていませんが、今後は草刈りなどの相互扶助活動も協議会にて行うことも検討しています。

- 九重町地域農業サポート協議会については、農林課（☎76-3804）までご連絡ください

### 緊急体制・医療体制の充実

17時を過ぎたら町内、郡内診療がほとんどできない。独居老人が増える中、相談する環境も少ない。救急車を呼ぶ程ではないが、心配な症状があった時など、とても不安。

回答

健康に関する相談につきましては、住民の方であれば電話による相談「このえ健康ダイヤル」を利用させていただくことが出来ます。

カウンセラーが24時間年中無休で対応いたしますので、是非ご利用ください。

#### このえ健康ダイヤル

24 0120-511-658

- ★24時間年中無休
- ★通話料無料
- ★心や体の健康、また休日・夜間の医療機関情報や病気やけがへの対処の仕方、お子さんの急病等の対処方法等を、医師や保健師等の専門職がアドバイスします



### SNSの活用

観光PRでインターネットなどをもっと活用すればいいのになと思います。せっかく、たくさんある観光資源をもっとSNS等を使って活用できると良いなと思います。

回答

観光PRについては、ホームページをはじめFacebook等のSNSを活用して、PRを行っています。また、町独自の取組に加え、由布市・九重町・玖珠町・日田市の4市町が連携した情報発信（インスタグラム）も行っています。今後も町内の観光資源を活用してさらなる情報発信に努めます。



◀Instagram 九重町観光情報 (kokonoetourism)



◀Instagram ユフココクスヒタ (yufu\_koko\_kusu\_hita)